2026年11月12日

各　位

会　社　名　株式会社リグア
代表者名　代表取締役社長　川瀬　紀彦
（コード番号：7090　東証グロース）
問合せ先　取締役　半田　晴彦
（TEL：06-7777-0159）

「一般社団法人NOヘルスイノベーション協議会」設立

一酸化窒素（NO／エヌオー）を活用した健康寿命延伸へ

～「Dr.Supporter」の全国2,000院以上導入の基盤を活かし、新設の医療機器分野へ本格参入～

株式会社リグア（本社：大阪市中央区、代表取締役社長：川瀬 紀彦、東証グロース：7090、以下「リグア」）と株式会社テイコク製薬社（本社：大阪市港区、代表取締役社長：畠山 進之介、以下「テイコク製薬社」）は、一酸化窒素（NO）に関する科学的研究の推進、技術の適正な普及および関連産業の健全な発展を目的として、一般社団法人NOヘルスイノベーション協議会を設立しました。本協議会は特定の企業や製品のプロモーションを目的とせず、一酸化窒素（NO）に関する科学的知見と技術を社会に適正に還元し、人々が科学的根拠に基づいて健康維持・増進に取り組める環境づくりを目指します。

■ 背景：NO関連技術の広がりと医療機器としての位置付け

一酸化窒素（NO）は人体内で産生される生体内分子で、血管機能や循環、運動機能など、さまざまな生理機能との関係が研究されています。高齢化が進む日本では健康寿命の延伸が社会的な課題となっており、一酸化窒素（NO）の生理作用に着目した技術は、医療だけでなく運動や睡眠、日常のコンディショニングなど、幅広いヘルスケア分野への応用が期待されています。

厚生労働省は、一酸化窒素（NO）の平滑筋弛緩作用により、末梢血管における血管拡張を通じて血行を促進させ、疲労や筋肉のこり等の症状改善を行うことを目的とした衣類形状等の器具について、医療機器の一般的名称「家庭用一酸化窒素（NO）産生血行促進用具」を新設し、一般医療機器（クラスⅠ）に分類しました。あわせて、当協議会では、「家庭用一酸化窒素（NO）産生血行促進用具」の定義に含まれる製品の自主基準を作成しております。これまで雑貨として扱われてきた製品の一部についても、一般的名称「家庭用一酸化窒素（NO）産生血行促進用具」の定義に準拠し、皮膚ガス測定など適切な方法により、使用者において有意な一酸化窒素（NO）産生が確認され、所定の基準を満たした製品については、必要な手続きを経て医療機器として届出を行う枠組みが整ったことを意味します。

一酸化窒素（NO）関連の製品やサービスが健全に広がるには、科学的エビデンスの蓄積、評価方法の標準化、安全性の確保、適正な表示といった産業基盤の整備が不可欠です。本協議会は、この新たな領域における「科学」「安全」「適正表示」「信頼性」の基盤づくりに、産学連携で取り組みます。

■ 予防医療領域のさらなる強化と、全国 2,000 院以上の導入接骨院ネットワークの活用

リグアはこれまで、予防医療の分野において「DESIGNING WELLNESS LIFE（人生から不安をなくし、生きるをサポートする）」を掲げ、人々の健康で豊かな生活をデザインする事業を展開してまいりました。その中核を担う取り組みの一つとして、テイコク製薬社が温泉療法に着想を得て開発した、温泉由来の機能性ミネラル「IFMC.（イフミック）」を加工したヘルスケアブランド「Dr.Supporter（ドクターサポーター）」を立ち上げ、ヘルスケアの最前線である全国の接骨院などに対する独自のネットワークを通じて提供してまいりました。

「Dr.Supporter」は全国の接骨院をはじめとするヘルスケアのプロフェッショナルを通じて展開しております。接骨院での施術と併用することで、施術の効果を最大化し、高い信頼性を獲得しており、多くの患者様の健康管理や体調管理をサポートする確かな実績を築いております。2021 年 7 月の販売開始以降、その導入院数は累計 2,000 院を超えています。

■ 新設された一般医療機器分野への本格参入

医療機器の一般的名称「家庭用一酸化窒素（NO）産生血行促進用具」の新設を受け、リグアはこれまで培ってきた「Dr.Supporter」ブランドの展開実績と、全国 2,000 院以上の接骨院ネットワークという強固な事業基盤を最大限に活かし、同分野における製品開発等に本格的に参入いたします。

本協議会を通じたエビデンスの構築と並行して、成長が見込まれる予防医療・医療機器領域における当社のビジネスをさらに強化・拡大し、持続的な企業価値の向上に努めてまいります。

■ 協議会の主な活動

- 一酸化窒素（NO）に関する科学的研究および情報収集
- 一酸化窒素（NO）関連技術・製品の科学的エビデンスの蓄積
- 評価方法および自主基準の検討
- 安全性、品質、適正表示に関する情報提供
- 研究者、企業、医療・ヘルスケア関係者等との連携
- 教育・研修および啓発活動
- 一酸化窒素（NO）関連技術の適正な社会実装の支援

将来的には、皮膚ガス等を利用した一酸化窒素（NO）関連指標の測定や、超音波血流計等を用いた血流変化の評価など、客観的な評価手法の研究・情報共有も進めます。一酸化窒素（NO）を特定の企業や製品のものにせず、研究者、企業、医療・ヘルスケア関係者がそれぞれの立場から研究・技術開発を進めることで、科学的根拠に基づく健全なヘルスケア産業を育て、「健康で長く生きることのできる社会」の実現に貢献します。

■ 一般社団法人NOヘルスイノベーション協議会 概要

法人名	一般社団法人NOヘルスイノベーション協議会
主たる事務所	大阪市
設立時社員	株式会社テイコク製薬社、株式会社リグア
目的	一酸化窒素（NO）に関する科学的研究と技術の普及促進、関連製品の品質・安全性・適正表示・信頼性の向上を通じて、国民の健康の維持・増進と関連産業の健全な発展に寄与すること

■ 本件に関するお問い合わせ

リグアグループ 広報
TEL：06-6232-1800
Email：pr@ligua.jp